

会 議 録	
会議の名称	平成27年度第2回清須市地域公共交通会議
開催日時	平成27年12月24日（木） 午後2時00分から午後4時52分
開催場所	清須市役所本庁舎3階 大会議室
議題	1 開会 2 あいさつ 3 議事 [報告事項] (1) 清須市コミュニティバスの運行・利用状況について (2) 清須市レンタサイクル事業の実施状況について (3) あしがるバスアンケート結果について (4) あしがるバス利用促進について (5) 清須市地域公共交通会議歳入歳出予算について [協議事項] (1) 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について (2) ルート・ダイヤ改正（案）について (3) あしがるバス利用促進（案）について 4 その他 5 閉会
会議資料	会議次第、配席図、委員名簿 [会議資料] 資料1 コミュニティバスの運行・利用状況概要 資料2 レンタサイクル事業の実施状況 資料3 コミュニティバス利用者・非利用者アンケート調査結果 資料4 「一日無料デー」事業報告 資料5 平成27年度清須市地域公共交通会議歳入歳出予算 資料6 平成27年度地域公共交通確保維持に関する自己評価概要（全体）（案） 資料7 平成27年度地域公共交通確保維持に関する自己評価概要調査事業（計画推進事業）（案） 資料8-1 「ゆうあいリハビリクリニック（仮称）」バス停の新設（案） 資料8-2 「はるひ呼吸器病院（仮称）」バス停の新設（案） 資料8-3 グリーンルートのダイヤ改正（案） 資料9 あしがるバス利用促進（案）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開

傍聴人の数 (公開した場合)	1人
出席委員	前田(繁)委員、山田委員、谷野委員、平松委員、林委員、後藤委員、加藤(榮)委員、宮崎委員、加藤(博)委員、古橋委員(代理)、小久保委員(代理)、大西委員、多田委員、古田委員、河合委員、前田(秀)委員、葛谷委員、石田委員
欠席委員	近藤委員
出席者(市)	なし
事務局	(企画政策課) 河口企画政策課長、忠内副主幹、岡田係長、小出主査、横井主事
会議録署名委員	平松委員、林委員
<p>1 開会</p> <p>●岡田係長 定刻となりましたので、ただ今から、平成27年度第2回清須市地域公共交通会議を開会いたします。 私は、企画部企画政策課の岡田と申します。本日の進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、会議に先立ちまして、前田会長にごあいさつをいただきます。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>●前田会長 本日は、年末のお忙しい中、お集まりいただき大変ありがとうございます。ご協力をお願いする中で、会議を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>●岡田係長 ありがとうございました。 会議に入ります前に、ご報告がございます。 人事異動等により、委員の変更がございますので、ご紹介をさせていただきます。 委員区分の第4号愛知県の行政機関の方ですが、愛知県警察本部西枇杷島警察署交通課長の大西優様に、人事異動により、新たに委員に就任いただくこととなります。これから大変お世話になりますが、よろしくお願いいたします。 続きまして、本日の会議の出席状況についてでございますが、本日の欠席委員は、第4号委員の尾張建設事務所維持管理課長の近藤委員の1名であります。 なお、第3号委員の国土交通省中部運輸局愛知運輸支局の古橋委員に</p>	

おかれましては渡邊様に、続いて、第4号委員の愛知県振興部交通対策課の小久保委員におかれましては瀬古様に、代理でご出席いただいておりますのでご報告いたします。

それでは、これより議事に入りますが、ここで、議事運営につきましてお願いを申し上げます。

会議での発言方法について、会議で発言していただく際には、必ず、挙手をお願いいたします。会長の指名を受けた後、係の者がマイクをお持ちいたしますので、その際、ご自身のお名前をおっしゃっていただき、ご発言していただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、この後の議事進行は会長の方でお願いいたします。

3 議事

●前田会長

それでは、これからは私が会議の取り回しをさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

始めに、会議録署名委員を指名したいと思います。本日の会議録署名委員は、座席順に平松委員と林委員をお願いしたいと思います。

議事に入りますが、本日は報告事項が5件、協議事項が3件となっております。

では、まず報告事項の議事(1)「清須市コミュニティバスの運行・利用状況について」及び、議事(2)「清須市レンタサイクル事業の実施状況について」を一括して議題といたします。それでは事務局から説明をお願いします。

[報告事項(1)(2)について事務局から説明]

●前田会長

ただ今の事務局からの報告に関して、各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●山田委員

山田です。

説明によりますと、コミュニティバスの1便当たり利用者数が目標値と比較してプラス0.5人になったとの報告がありました。小さな増加ですが、事務局としてはそれで満足しているのかお伺いします。

また、レンタサイクルの利用状況については、目標値の3.0に届いていません。目標値は大したことではないと思いますが、なぜ目標値に届かなかったのかということが言われていませんが、それはどのような理由があるのでしょうか。

●岡田係長

コミュニティバスについては、目標値プラス0.5人の増加であったということと、レンタサイクルについては目標値の3.0に届かなかったと報告しました。

利用促進策については、昨年はイベント時にPRしただけでありましたのが、今年度は昨年と比較してPR活動も徐々に増えてきています。来年度も後ほど説明しますが、広くコミュニティバスやレンタサイクルを周知していきたいと考えております。今年の結果につきましては、あくまで目標値に対しての結果でありまして、一つの通過点として、今後も利用促進策を行って利用者数を増やしていきたいと考えております。

なぜ増えなかったという点については、私共のPR不足かなと思っております。これを踏まえて、次年度以降、利用促進を進めてまいりたいと思います。

●瀬古委員

愛知県交通対策課の瀬古です。

レンタサイクルについてですが、目的地に麒麟ビール工場がありますが、そこでは確かビールの試飲もできると思います。

試飲後は自転車に乗るといけないと思いますが、それに対して、何か対策は行っていますでしょうか。

●岡田係長

委員が仰られたとおり、麒麟ビール工場に自転車で行かれてアルコールを飲まれた場合は、帰りは自転車に乗れません。

利用者アンケート結果でも「ビールが飲めなかった」と書いてありました。私共としましては、ニーズがあることは把握しておりますので、次年度以降に麒麟ビール工場へのアクセス方法を検討していきたいと考えております。出来る限り多くの方にご利用していただけるように考えていきたいと考えております。

●加藤（榮）委員

加藤です。

レンタサイクルについてですが、来年は申年です。市内にはお猿の神社で有名な日吉神社というのがあります。今朝もテレビでやっていました。皆さんもご存知だと思いますが、とても立派な神社なので、キシ清須店のあたりから自転車に乗って行けるように紹介されたらいかがでしょうか。

コミュニティバスについても、近辺まで乗ってきていただいて、日吉神社に行っていただくのも良いかと思えます。

●岡田係長

ありがとうございます。

現状においては、レンタサイクルマップの中でモデルコースを推奨しており、そのモデルコースの中で日吉神社についても、新清洲駅から自転車に乗っていけることをご案内させていただいております。神社の中には、自転車を置く場所もあります。

●加藤（榮）委員

今までどおり、大きくアピールして欲しいと思います。

●山田委員

山田です。

レンタサイクルの利用ということで、モデルコースがあるという話ですが、市内に自転車道というのは整備されているのか、これからどういう考え方で自転車道の整備を進めるのかお聞きしたいです。

●石田委員

都市計画課長の石田と申します。

自転車専用の自転車道は、市内には整備されておられません。

自転車道を設けるとなりますと、道路としても狭くなってしまうので、都市計画道路であれば自転車道の整備をする可能性はあるのですが、その都市計画道路にしても自転車道の整備は計画されていません。都市計画道路の基本的な考え方は、自歩道を3 m以上の幅員を確保することで、自転車と歩行者が通行できるような形で都市計画道路を整備していくことです。

あと、生活道路については、当然、自転車道は設けられないので、段差のない安全な道路を整備していくという形で、自転車の通行については配慮していきたいと考えております。

●山田委員

山田です。

レンタサイクルのモデルコースの中で、交通事故が起きたときには、貸し出した方か利用した方に対して、何か補償はありますか。

●岡田係長

モデルコースに限らず、レンタサイクル事業において、自転車保険に加入させていただいております。

どちらが原因かというのはそのときの状況によりますが、借りられた方に対しては、自転車保険という形で補償しております。

●前田会長

他によろしいでしょうか。

〔特になし〕

それでは、加藤先生に報告事項（１）（２）に関しまして、ご講評いただきたいと思っております。

●加藤副会長

レンタサイクルについては、やはり市外の利用が大半で、その大半が清洲城に行っているというのは、大体使いたい人はそういう感じかなと思います。

逆に言ったら、清洲城に行きたい人がどれだけレンタサイクルを使ってくれるか、また、使ってくれるんだったら、ついでにそれ以外にもい

ろんなどところに行ってくれると良いなという感じで現状実施しています。「以前使って良かったね」とか、「知り合いに聞いて利用したけど意外と便利だね」という人がいる感じかなと思っています。

そもそも、レンタサイクルを始めた理由は、清須市の観光などの交通手段として、コミュニティバスだけでは当然対応できないので始めたところですので、現状の利用状況と合っていると思います。

コミュニティバスの利用状況は、予想されたとおりにかなと思います。

それぞれオレンジルートだけ、グリーンルートだけ、サクラルートだけで比較すると、ちょっとルートの組み替えとかもありますので、簡単にどれが良いとか言いづらいますが、全体としては、増やすことができたというのは良かったと思います。細かいところについては、後ほどルート・ダイヤ改正のところ、あるいは利用促進のところでご審議いただければと思います。

●前田会長

ありがとうございます。

他に委員さん、よろしいですか。

〔特になし〕

ご質問も無いようですので、報告事項（１）（２）に関しましては、これで終了いたします。

続きまして、報告事項の議事（３）「あしがるバスアンケート結果について」、議事（４）「あしがるバス利用促進について」、及び議事（５）「清須市地域公共交通会議歳入歳出予算について」を一括して議題いたします。それでは、事務局から説明お願いいたします。

〔報告事項（３）（４）（５）について事務局から説明〕

●前田会長

ただ今の事務局からの報告に関して、各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●山田委員

山田です。

アンケートの自由意見の中の悪い点について、事務局は今後どうしていきたいかお願いします。

●岡田係長

悪い点についてですが、「目的地まで時間がかかる」という意見がありました。これにつきましては、後ほど協議事項にもありますが、ルート・ダイヤ改正の中で、グリーンルートが恒常的に遅れているということもありますので、こういったことも含めてルート・ダイヤ改正を進めていきたいと思っています。

ただ、全体的には本市のコンパクトシティの特性から、現状のルー

ト・ダイヤは妥当な形だと思います。来年度に大規模な意識調査を予定しておりますので、そのご意見等を踏まえて検討していきたいと考えております。

●後藤委員

後藤です。

自由意見のところに「高齢者は安くして欲しい」という意見があり、近所の方からも時々聞きます。私自身としては100円がそんなに高いとは思わないのですが、日常的に利用されている方にとっては安くして欲しいのかなと思います。それについては、どのように考えていますか。

●岡田係長

利用料金を安くするとすると、例えば、半額の50円など色々なケースがあるかと思えます。

まずは、後ほど説明しますが、来年度に運転免許証を返納された方に対して、10回分の無料乗車券の配付を予定しております。

元々コミュニティバスを利用されている方への減免については、今後検討していきたいと思えます。

●前田会長

他によろしいでしょうか。

〔特になし〕

それでは、加藤先生に報告事項全般の総括を含めまして、ご講評いただきたいと思えます。

●加藤副会長

料金の考え方は難しいですね。

最近、東海3県や愛知県内では、むしろ現状の100円が安すぎるので、料金を100円から200円に値上げしていて、高齢者に対して無料であったのを撤廃するなどといった動きが起きています。

つまり、コミュニティバスが100円だったら十分安いと思えます。これは、人それぞれの感覚にもよりますね。便利だと思っていたら100円は安いと思えますが、そうでなければタダでも乗らない人もいるので、料金設定は難しいところです。

自由意見に「1時間に1本は運行して欲しい」とありますが、そうすると補助金も倍になります。

結局のところ、市からどれだけお金を貰って、運行事業者がどれだけ払っていただくか、それによって利便性をどのように大きくするかという議論です。それは皆さんでご意見をいただきながら、お金を掛けなくてもできることもあるし、お金を掛けなければできないこともあります。それは長丁場の話になりますが、それでもやらなければいけないと思えます。

あとは、他の自治体でやっている一日乗車券だとか定期券だとかあり

ますが、清須市は通院が少なく、毎日通う人があまりいないので、どうしても定期券は難しいと思います。回数券も100円だったら出して良いんじゃないかと思いますが難しいと思っています。あとは、今の路線で、「こんなことも使えるよ」とか、「こんな行き方もできるよ」とか、コミュニティバスの新しい使い方を提案していくこととか、逆に施設に呼び掛けて色々とPRしてもらうことをしていかなければなりません。

やはり、網形成計画でも認知度を高めることを目標としていますので、まずは知ってもらうというのが大事です。

以前からあしがるバスは、露出をしてくれているのですが、皆さんに忘れられないようにしていくことは、やらなければいけないと思います。ただ、今この場でこの策を実施すると効果的だという策は、申し上げることができませんので申し訳ございません。

●前田会長

他に各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

[特になし]

●前田会長

ご質問も無いようですので、報告事項(3)(4)(5)に関しましては、これで終了いたします。

続きまして、協議事項に移ります。協議事項の議事(1)「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)について」の説明を事務局からお願いいたします。

[協議事項(1)について事務局から説明]

●前田会長

ただ今の事務局からの説明に関しまして、各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●大西委員

大西です。

清須市のコミュニティバスの時刻というのは、実際に時刻表を見ないと分からないものでしょうか。

バスを利用するときにインターネットですとか、乗り継ぎのソフトとか色々なものがありますよね。そういったものを見たときに、JRや名鉄など大手のところだと簡単に出てきますが、地域で回っているコミュニティバスの時刻表を探そうとするとなかなか出てきません。各自治体のホームページを見れば出てくるかもしれませんが、こういった点について、清須市はインターネット上ではどのような対応をとっているかお聞きしたいと思います。

●小出主査

現在、時刻表・ルート図については、もちろん本市のホームページ上

で公開しております。また、民間のボランティア団体が運営している乗り換え検索サイトにも掲載しております。

しかしながら、いわゆる大手検索サイトでは掲載しておりません。網形成計画の中でも利用度向上の促進策の一つとして乗り換え検索サイトへの情報提供を設けており、来年度の実施を予定しておりますので、それに向けて調査、検討していきたいと思います。

●大西委員

もう一点すみません。

あしがるバスの運行時間は、どう見ても昼間の買い物や観光地を利用される方に合わせた時刻だと思えます。

そういった方が、例えば清洲城に行こうとしたときに、清須市の観光振興のページにアクセスしたときに、簡単にあしがるバスのことも目に入るようにすれば、時刻表の検索だけでなく、あしがるバスを知る機会になると思うので、そういったことも考慮していただきたいと思えます。

●小出主査

現在、コミュニティバスは、日中の交通弱者等の買い物の足を主な目的として運行していますのでそのような運行時間となっております。

後ほどの協議事項のところで申し上げますが、今後は、交通弱者等の日中の交通手段としてだけでなく、観光アクセスの充実も考えておまして、「市外の方が駅まで来て、駅から市内の観光施設をぐるっとまわって駅に帰る」というようなモデルコースを設定することを考えております。

●山田委員

山田です。

自己評価のアクションについてですが、記載のとおり課題がはっきりしています。是非、「課題への対応」のとおり、実施に向けて計画を立てていただきたいと思えます。

●小出主査

承知しました。「課題への対応」につきましても、網形成計画でも掲げているところですので、協議会での皆さんの意見を踏まえまして、着実に実施していきたいと思えます。

●瀬古委員

交通対策課の瀬古です。

事業評価の別添1の表のグリーンルートについて、「目標・効果達成状況」のところで、目標利用者数に対して実績利用者数がわずかに下回っているのですが、これについて原因が何か分かれば教えていただきたいです。

また、「目標を概ね達成した」ということでA評価となっておりますが、その考え方についても教えていただきたいと思えます。

●小出主査

「目標達成率98%」という結果でしたので、目標を下回ったとはいえないと思ひまして、「概ね達成」とさせていただきます。

目標利用者数につきましては、今まで利用者が伸びてきている中で、目標に対しては下回っていたので、原因について調査して改善していきたいと思ひます。

●前田会長

他に委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

〔特になし〕

よろしいでしょうか。

それでは、議事(1)に関しまして、加藤先生からご講評いただきたいと思ひます。

●加藤副会長

目標利用者数の設定ですが、以前に実績に合わせて上方修正したような気がします。去年がかなり目標よりも高く結果が出せたので、上方修正をした経緯があって、その目標まではいかなかったということです。

従って、この目標利用者数は、前年度並みとかではなく、すべて前年度を上回る目標を設定してまして、しかも、元々2年後くらいで考えていた目標を更に上方修正した。私も「志高くやってみよう」ということで上方修正していただいた。そういう意味では前年度より増えたか減ったかというものではないので、「概ね達成」の評価で良いんじゃないかと思ひます。

通常は、前年度比で微減、微増というのが多いので、そういう目から見ると、上方修正した目標から、若干減ってるだけなら良いのではないかと思ひます。

目標利用者数の考え方はどこかに書いておいた方が良くと思ひます。逆に言うと、資料1では、オレンジルートもグリーンルートも前年よりも10パーセント増ですが、目標はもっと高いことになるので、それについて明記した方が良くかなと思ひます。

それから、事業評価ですが、結局この1年で何をやってきたかという総括と、この後何が積み残っているか、あるいは新しく何をするかということ。

午前中に他地区の公共交通会議に出席しましたが、清須市の会議は、午前中の会議と比べると全く違っていて、要するに、会議そのものが極めて意見が色々出る会議かなと思ひます。

しかも、内容的に上滑りではなく、かなり実感に近い意見が私の左からも右からも出てきます。午前中の会議は、基本的にコミュニティバスのことを分かっていない人が多い。「ダイヤはどうですか」とか「いつから走っているんですか」とか、そもそも何も知らない人の集合体みたいな会議です。

この会議は、そういうのではなく、ある程度分かった上で、「もっとこういう方法があるんじゃないですか」とか、建設的な意見が出てきている。そういう会議がきちんと運営できているというのは、僕は売りじゃないかと思います。私が出ている会議の中では、かなり色々な意見が出ている会議かなと思います。

一方で、山田委員が仰ったように、あるいは以前いらっしゃった小澤委員がよく仰っていたように、課題が出てくるんだけど、解決が遅い、もしくは解決していかない印象があります。

やはり、この辺が課題であり、我々は指摘するだけですが、実際やろうとすると難しく、調整が必要とか、予算の関係とか、色々な理由があって、なかなか進んでいかないものです。

この事業評価のアクションのところでも、計画に元々書いてあるところで、やっていかなければいけないことについて、どうやってスピードアップしてやっていくかが必要でして、「やらなければいけないことが分かったから、スピードアップしてやらなければいけない」とか、「もっとこういう工夫をしていかなければならない」とか、もう一段突っ込んだ書き方をしていけば、アクションのページも、もっと実感が湧くかなという気もします。

あと、資料7「計画推進事業」の方は、先ほども言おうと思ったのですが、この後協議事項（3）のところで「あしがるバス利用促進（案）」がありますが、平成27年度と平成28度の2年度間は国から半額補助をいただいて、利用促進策ができるという2年間です。既に、1年終わってしまいましたが、あと1年何を行うかということについて、今日意見を言うと、何か追加できるかもしれません。

それを念頭に置いていただいて、「もっとこんなことを行うと良いんじゃないか」というのは、この後意見を言っていただけたらと思います。

事業評価については、そんなにおかしいところは無いので、もっと上を目指してくれると良いなと思います。

●前田会長

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

〔特になし〕

それではご質問もないようですので、ここでお諮りしたいと思います。本件に関しまして、事務局案で承認してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項議事（1）を終わります。

続きまして、協議事項の議事（2）「ルート・ダイヤ改正（案）」について」の説明を事務局からお願いいたします。

〔協議事項（2）について事務局から説明〕

●前田会長

それでは、協議事項（２）に関しまして、委員さんからご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

●山田委員

山田です。

はるひ呼吸器病院についてですが、病院が移転するのはやむを得ないと思うんですけども、現在、豊和病院に通院される方は、かなりの方がおみえになります。

そういう中で、バス停をサクラルートに設定するとなると、西枇杷島地区、清洲地区、新川地区の方々がどこで乗り換えたら良いのか、しっかり周知してください。

また、美濃路付近にもサクラルートを通すなど、サクラルートを検討していただきたいと思います。

それと、グリーンルートのダイヤ改正ですが、私も利用しますが、いつも東行きは15分、20分、30分と遅くなることがあります。私もあまりにも遅いので、心配になって市役所に電話したことがあります。必ず変更してきちんとしたダイヤ設定をお願いします。

それと、東町公民館が新設されましたが、それによって、非常に時間帯がおかしくなるんです。東町公民館から市役所へ帰って、枇杷島駅付近をぐるっと回って、天水公園の方に戻ってくるルートであって、利用者の方から「何でこんな回り方するの」という声もございますので、ご検討いただきたいと思います。

●小出主査

まず、先ほどの「はるひ呼吸器病院の新設に伴って、周知の方をしっかりとってください」ということでしたが、こちらにつきましては、現在豊和病院と調整中のごさいます。豊和病院からもしっかりとあしがるバスを周知していただけるということでお話しをいただいております。

また、グリーンルートが恒常的に遅いというところで、私共も大変申し訳ないと感じております。

しかしながら、「東町公民館の新設はいかがなものか」ということをごさいます。こちらのバス停は以前に要望があって開設した経緯があり、また、利用者数も資料1の上位10か所には載っておりませんが、上位11番目にして需要もあるので、新設については妥当であると考えております。

●山田委員

山田です。

東町公民館の新設は良いんです。ルートに疑問を持っています。東町公民館から市役所を回って、旧高岡製作所を回って、それから天水公園に行っています。東町公民館と天水公園は400メートルぐらい離れているだけです。

従って、市役所を回らずして、ルートを改正することも考える必要が

あるんじゃないかなと思いました。

●河川課長

今回のルート・ダイヤ改正につきましては、基本的に大幅なルート・ダイヤ改正は考えておりません。

先ほど言いましたように、病院への新バス停2つの設置、そして、つばめ自動車が立入検査によって指摘を受けたダイヤ改正を予定しております。

大幅なルート・ダイヤ改正につきましては、来年度皆さんのご意見を聞いた上で、根本的に変えるかどうかは別としまして、一度議論を深めていきたいと思っております。

ルート・ダイヤ改正のグリーンルートにつきましては、方法論はございます。ただ、先ほどもありましたように、1本1時間というのを一応の目安としておりますので、恒常的にダイヤが遅れているから間隔を空けるといえるのはどうかと思っております。これで一度様子を見させていただいて、それでもなおかつ恒常的に遅れが発生することになると、来年度のところで検討していきたいと思っております。

もう一点、先ほどの質問にございましたように、はるひ呼吸器病院の利用者につきましては、今の豊和病院の利用者数からすると想像はついております。その方々の全員をあしがるバスでカバーするところまでは正直考えておりません。これは、確定ではないかもしれませんが、豊和病院もシャトルバスを予定しております。その補完的なものになるのかなと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

●平松委員

新しい時刻表の中で、オレンジルートの春日支所ですが、春日老人福祉センターの中に清須保健所があります。

時刻表の中に、「春日老人福祉センターの中に清須保健所があります」というのも書いていただくと、関係する方に分かりやすいのかなと思っております。

●小出主査

バス停の呼称等につきましては、清須保健所が広域的な公共施設でございますので、新規作成の際、春日支所と併記させていただきたいと思っております。

●加藤（榮）委員

前回の会議で、「三菱重工業の社宅建設に伴って、バス停を設置してはどうか」という話をしたと思うんですが、その後はどうなっているのかお聞きしたいです。

もし、設置できないということでしたら、JR枇杷島駅東口に3ルートではなく、西口に1ルートを停めることはできないでしょうか。

そうすると、三菱重工業の社宅の方も東口に回らず、西口で乗れるので、バス停を新設しなくても良いのではと考えました。

あと、もう一つは芳野公園北ですが、交通渋滞によって、毎日のよう

に2、3分遅れます。毎日遅れるバス停は手書きで良いですので、そこだけ直していただきたいです。高齢者は、もうそろそろ来るかなと思ってバス停に行ったら、バスが来ないので、通過後と勘違いしてがっかりして帰られるお客さんがいらっしゃると思いましたので、手書きが良いと思いますので、2、3分遅れた時間で書いていただければありがたいです。これは、次の改正で対応していただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

●小出主査

三菱重工業の社宅への対応ということで、前回もご意見いただきまして、事務局でも検討しているところです。現在、三菱重工さんの社宅の近くのバス停はグリーンルートですと、二ツ杵駅東がございます。サクラルートですと、芳野公園北がございます。こちらで対応ができるのかどうかというところを検討しながら、また、新設の場合は、先ほど課長も申し上げましたが、来年度に大規模な市民ニーズの意識調査を実施しますので、そちらを踏まえて、検討していきたいと思います。

また先ほどサクラルート芳野公園が恒常的に遅れているというご意見をいただきまして、ありがとうございます。私共も知らなかったところなので、次回のルート・ダイヤ改正における、はるひ呼吸器病院新設の際には、サクラルートのダイヤを改正しますので、そちらに併せて調整したいと思います。

●加藤（榮）委員

社宅の人数は分かりませんが、16階建てが6棟建つという話を聞きましたので、もし、バス停が設置できない場合は、枇杷島駅の西口に1ルートを通していただきたいと思います。

●渡邊委員

今回の第2回の会議ですが、次回の第3回が2月上旬に予定されているということです。今回の資料8-1と8-2については情報だけを提示して、次回の第3回の2月上旬に承認という流れなのかということが一点。また、もしそういう流れであれば、資料8-1と8-2の資料の中にバス停の写真がなかったので、できれば第3回でそのような情報とか、今回のルートだと駐車場で転回するような形になると思うので、その転回位置などを示していただければと思います。

●小出主査

次回の第3回の会議で設置場所の写真、地図等及び詳細なダイヤをお示しさせていただいて、最終のご承認をいただきたいと考えております。

●古田委員

古田といいます。

資料8-3の中で、グリーンルートの運行時間50分のところが60分になるということで、既存のグリーンルート東行きのダイヤが10分

ずつつれてくるのと、始発が全部変わってくるので、大幅にグリーンルートダイヤが変わります。

例えば、2月上旬に承認を受けて、すぐに申請手続きに入るのですが、スケジュールとして、それでルート・ダイヤ改正が間に合うのかということと、乗務員の休憩の時間は配慮されているのか確認をさせていただきたいです。

●小出主査

ダイヤにつきましては、運行事業者のつばめ自動車と協議中ですが、概ね固まってきており、現状では詳細を調整中です。

乗務員の休憩につきましては、労働基準法等に基づきまして、乗務員に無理のない安全第一のダイヤを考えております。

●岡田係長

補足でございます。本日はルート・ダイヤ案を協議事項として示させていただいており、改正の大筋のご了解をいただいた上で、次回、本日のご意見を踏まえた最終案でご協議をいただきたいと思います。

●多田委員

タクシー協会の多田と申します。

前回会議を欠席させていただいたので、様子も分からないところもあって恐縮ですが、先ほど新病院の話がございまして、その中で病院が独自にバスを走らせるというようなお話もありました。その運行計画のようなものは、委員の皆さんが既にお知りになっているのかどうか確認させてください。

網形成計画には、おそらく、あしがるバスであったり、レンタサイクルであったり、タクシーであったり、様々な交通を確保していく観点の中で、それぞれの多様な主体が何を行うのかということ、また、どうやってネットワークを図るのかという観点が非常に大事だと思っています。そういったそれぞれの情報提供状況ですとか、計画の中での位置付けなどは、どのようになっているのでしょうか。本日、つばめ自動車さんもおみえですが、タクシー事業とも関係が出てくると思いますので、お聞かせいただきたいと思います。

●河口課長

はるひ呼吸器病院の新たなシャトルバスの運行というのは、まだ未確定情報でして、私の方でも正式に走らせるというところまでは聞き及んでいません。現時点ではそういうことを検討しているという段階です。

仮に、それが確定した場合につきましては、清須市として網形成計画の中に、どのように落とし込んでいくのかなどにつきまして、改めて、この公共交通会議の場で皆さんにお示ししていきたいと考えております。

●多田委員

私はタクシー業界の団体でございますので、タクシー主体で見ます

が、おそらくあしがるバスにも影響は出てくると思いますので、その辺りについて、全体的な公共交通との兼ね合いでご判断いただきたいと思います。

● 河口課長

はい、承知しました。

● 前田会長

それでは、議事（２）について、加藤先生に講評をお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

● 加藤副会長

今回は、３つ別々の改正が一体になっているので、ややこしかったですね。

８－１は、現状でバス停の位置が示せたので、今回の会議で示した方がよかったと思います。

ダイヤについては、まだ未定ということで、オレンジルートは３月末の改正ですので、あまり時間がないので、愛知運輸支局に迷惑を掛けては申し訳ないので、注意しなければいけないですね。

８－２は、そもそもまだ敷地もない状態です。どこかっていうのも地図上では示せても写真では示せていません。私も、豊和病院のホームページでは拝見しました。バス停の新設に伴って、サクラルートの運行時間が１０分延長してしまうのは困ったなと思っていて、もう少しなんとかならないかなと思っています。

あと、私も今始めて認識したんですけど、豊和病院がシャトルバスを走らせるとすると、あしがるバスとの兼ね合いがどうなるのか懸念される場所です。

総合病院の移転は、５月１日のようなゴールデンウィーク前後が外来が少ないので移転することが多いです。今年の５月１日は西知多総合病院や常滑市民病院の移転がありました。

西知多総合病院は、東海市と知多市の市民病院が統合したので、どちらからもシャトルバスが入っています。

また、東海市のらんらんバス、知多市のあいあいバスの両方のコミュニティバスも入っているという状態です。それぞれの公共交通会議でシャトルバスについて協議はしましたが、協議というより、シャトルバスの概要が報告されていただけでした。病院へのアクセスも、ホームページ上でシャトルバス、コミュニティバスをまとめてやっております。

はるひ呼吸器病院も、シャトルバスが運行されるのであれば、コミュニティバスと一括で考える必要があります。

２月上旬の会議で、シャトルバスのルートのことが分かれば、是非一緒に出してください。民間の病院ですと、なるべく多くの患者さんにお越しいただきたいので、どんどんシャトルバスを走らせるという傾向があります。

希望としては、病院に協賛金を出していただいて、シャトルバスをコミュニティバスみたいにして走らせるということも考えられます。まだ

計画が煮詰まっていらないなら、そういう方法も考えると良いかなと思います。

また、病院のシャトルバスに病院利用以外の方、例えば、隣にドン・キホーテやコジマがありますが、そういった施設に行く方が、乗車して来る可能性があります。その場合に、ドン・キホーテやコジマに行かれる方は、料金を払ってもらって、病院の方は、無料にするなどの方法は考えても良いかなと思います。

8-3は、ダイヤは是正しなければいけないですが、私が気になっているのは、現行グリーンルートの終着が19時28分です。

案3では、終着が20時08分で現行から40分遅くなる形になります。それが問題であり、9便・10便が確保されるべきではなくて、最終便が何時かというのが大事です。現行の最終便の終着が19時28分となっており、10分ぐらい遅れているのもう少し遅いかもしれませんが、その時間に乗っている人が1日2人か3人いるので、運行しなければいけないということだと思います。

案2では、終着が19時08分となっていますので、これを20分遅らせて運行すれば良いのではないかなとも思います。

大事なのは、案3は5往復運行するという事、案2は4往復するという事なので、議論としては、4本しか走らせられないか、5本走らせるか、どちらが良いかという議論であり、9便・10便の最終便を走らせるかどうかという議論ではないと考えます。

案2の運行時間を後ろにずらせば、今と同じくらいの終着になります。案3は遅すぎるので、心配なのは、遅すぎるからもう利用しないという方が出てくるんじゃないかなと思います。

いずれにしても、ダイヤは変えなければいけないということで、事務局は、東行きも60分に変えることにして、そのときに最終が遅くなる案を提案されていますが、私は案2でも良いんじゃないかなと思います。むしろ、案3のように、最終便を遅くすることによる弊害は無いかなと思います。

●岡田係長

すみません。今のお話の中で、呼吸器病院の写真の話がありましたが、既に工事が始まっておりまして、外観もほぼ出来上がってきています。次回の資料の中では、どこにバス停を置くのかというのは図示したいと思っています。

加藤先生のダイヤの話につきましては、次回までに、再度事務局で検討したいと思います。

●加藤副会長

東町公民館の件は、協議の最後の最後まで大回りするのを止める案は無かったですね。

新川地区の南の方まで行くと遅くなるので、そのときに先に東町公民館に行って、早く帰りたい方はそこから歩いて帰ることができます。歩くのが嫌な方は、時間が掛かるけど乗って帰っていただくことを前提として乗り入れた経緯があります。

従って、現状だけみると、東町公民館に行くのに、なぜそこから天水公園に行かないのかと思うかもしれませんが、それは逆でして、最初から、市役所の方を回らなければいけないという前提の下で改正の協議をしていて、その中で、ここで乗り入れれば、早く帰りたい方はそこで降りていただくという案です。

市役所を回ること自体を組み替えるなどの話になると、大規模な見直しになると思っていて、そのことによる弊害も出てきますし、先ほど、事務局は大規模な見直しは今回はやらないという話でした。

しかしながら、私の考えは事務局と違っていて、もし皆さんが、今大規模な見直しをやらなければいけないというなら、それはやらなければいけないだろうと思います。

改正の際には、オレンジルートとグリーンルートのどちらがカバーするかという話が出ます。そうすると、グリーンルートでやらなければいけないとか、オレンジルートでやらなければいけないとか、サクラルートでやらなければいけないとか、結局全部また取り替えるとなると、かなり大規模な見直しになります。今回のところは、平成28年度に大規模な意識調査を予定していることを踏まえると、グリーンルートの運行時間に無理が生じているとのことなので、まずはダイヤを是正するという形で改正していただきたいと思います。

●岡田係長

承知しました。

●加藤副会長

今日、協議事項でどこまで決めるかですね。

●小出主査

はい。事務局としましては、案3の9便・10便の「ヨシヅヤ清洲店」以降を廃止する方向で改正したいというのをお示しさせていただいております。

しかしながら、先ほど加藤先生からは、案2の9便・10便を廃止する案でも良いのではないかとこのところでございましたので、次回の第3回において、案2及び案3の詳細な対応をお示しして協議していただき、どちらかに決定していただこうと考えております。

●加藤副会長

最終便の運行をもっと遅くした方が良いというのなら、案3でも良いと思います。

この資料の記述ですと、9・10便が必要であるという書き方だったので、そういうことではなくて、その時間に最終便があるのが良いのではないかと考えているところです。

●河口課長

今先生が仰られるように、案3ですと、終着が20時08分ということで、これについては私共事務局も悩んでいたところです。

ダイヤについては、運行事業者と調整をして、いくつかの案の中からこの終着が20時08分である案3を選択したところです。

先ほど加藤委員からも発言がありましたように、恒常的に遅れるバス停があれば、そのバス停の手前で、ある程休憩が取れて、時間調整ができるクッションのような場所を確保するとか、そういったところについても詰めているところです。しかしながら、それも難しいところもあって、今回のコンセプトとしては、便数は現状維持でいきたいということでした。

それでも、恒常的にダイヤが遅れるということでしたら、次回のルート・ダイヤ改正において、可能かどうか明言できませんが、バス停を抜本的に変えるなどの検討を行っていきたいと考えております。

次回の第3回の会議で、最終的に皆さんの判断を仰ぐことになろうかと思えます。本日は、仮という言葉が正しいかどうか分かりませんが、仮の承認と言いますか、本日の委員のご意見は踏まえて微調整はさせていただきますが、「基本的にはこの方向性で進めさせてよろしいですか」という承認をいただきたいと思えます。

●前田会長

他に、ご質問もないようですので、ここでお諮りいたします。本件に関して、ご承認いただくということでもよろしいでしょうか。

[異議なし]

ありがとうございます。それでは、協議事項(2)に関しましては、これで終了いたします。

続きまして、協議事項(3)「あしがるバス利用促進(案)について」の説明を事務局からお願いいたします。

[協議事項(3)について事務局から説明]

●前田会長

ただ今の事務局からの報告に関しまして、各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●平松委員

先ほどの清須保健所の件については、新しい時刻表の施設紹介の欄に記載されておりましたね。気づかなくてごめんなさい。

あと、免許証返納支援事業の無料回数券は本人限定でしょうか。

●小出主査

はい。基本的には本人限定とさせていただきます。

●前田(秀)委員

つばめ自動車の前田です。

先ほどの自己評価のアクションと連動するかどうか質問なんですが、

平成28年2月に策定予定の「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、この協議会の中で協議されて、策定していくということですか。

●小出主査

協議会とは別に、「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定される予定でして、その戦略の中に、「あしがるバスを使って観光を充実させよう」という施策が盛り込まれる予定です。

●前田（秀）委員

分かりました。

あと、免許証自主返納支援事業ということで、その地域の商店街で、例えば、イオンでは3,000円以上お買い物した人には割引チケットを出すとか、そういった支援をやっているところがあります。

清須市も、毎日利用されるお客様は、往復で200円使うことになるので、片方だけ負担するとか支援があると良いですね。

先ほどのイオンでは、3,000円買くと、買った荷物も無料で自宅に届けることをやっていて、うちの知り合いのおばあちゃんも利用しています。

また、別の支援の方法として、あしがるバスの「無料乗車券10枚綴り」とかあれば、利用者の懐も少しは楽になり、地域の足の利用促進につながりますので検討していただきたいと思います。

●小出主査

免許証自主返納支援事業については、先ほどのご意見にあったサービスもある中で、本市としては、初めて実施する支援事業ですので、まずは、無料回数券10回分というところから始めさせていただきたいと考えております。

観光振興の面での商店街などとの連携につきましては、関係機関との調整がございますので、今後の検討事項とさせていただきたいと思えます。

●林委員

林です。

今お話がありましたように、利用促進ということで色々意見ありました。

商工会の理事会の中でも、あしがるバスの利用促進の話をしておりまして、例えば、バスに乗って商店で買い物をしていただいた方には「クーポンをお渡しする」、「商品を特別割引する」とか、市役所が出している「おとくだ信長クーポン」のような形で、商店の皆さんにお手伝いしていただいて、バスに乗って買物をする、何かしらのメリットを出したいと考えています。

アンケート結果をみていると、買い物に利用される方がけっこうあるみたいなので、特に高齢者の方とか障害をお持ちの方ですと、なかなか自分で買い物に行くのは不便です。利便性を考えて、商工会でも協議をしている最中ですので、具体的に決まればまたお話したいなと思いま

す。

あしがるバスを、たくさんの方に利用していただいて、バスにたくさん乗ってもらう方が良いです。そうすると、街も賑やかしく、商業の活性化にもなりますので、話がまとまり次第、この協議会で説明していきたいと思います。

●小出主査

網形成計画の中でも、利用促進策の一つとして、商業施設との連携を掲げておりますので、商工会とも連携して進めさせていただきたいと思います。

●山田委員

山田です。

観光アクセスの充実ということですが、これは観光協会と手を組んでやられるということで理解してよろしいですか。

●小出主査

例えば、モデルコースマップの中で記載予定ですが、清洲城に立ち寄ったときに、観光協会が発行している観光ルートマップがございます。そちらを活用して飲食をしていただいたり、W i - F i やインターネット等を活用して紹介もしていますので、そちらの紹介も併せて記載して、観光協会と連携して進めていきたいと考えております。

●山田委員

山田です。

運転免許証自主返納支援事業ということで、あしがるバス無料券10回分を提案されていますが、往復したらたった5回分です。有効期限6か月ではなく、6か月間無料くらいにしないと、高齢者の交通事故は減らないと思います。

私も、ぼちぼちそんな年齢になってくるんですが、もう少し思い切った支援事業を計画された方が、自主返納の促進に繋がるのではないかと思います。

●加藤副会長

今の山田委員のご意見に私も賛成です。

別に、そのことで減収になるわけではないので、返納されてもバスに乗ってくれるかどうか分からないので、6か月無料の定期券みたいなのを渡して、6か月間で好きになってもらって、その後は一日乗車券を買っていただくのが良いかと思います。

自治体によっては永遠に無料というところもあるそうですが、これはかなり不公平です。元々コミュニティバスに乗っておられる方は、今後も料金を払わなければならなくて、今まで免許を持っていて自家用車に乗っていた方が、免許証を返納して、この先ずっと無料というのは不公平であると思っています。

従って、私としては、3か月無料というのが良いのではないかと思います。

ます。

それが無理であったとしても、少なくとも無料乗車券ではなく、一日乗車券にはして欲しいと思います。一日乗車券を10枚、有効期限6か月にして配布します。ただし、不正利用の問題があり、その無料券には、免許証を返納した旨の記載をすると良いです。例えば、子どもが使用した場合は、もちろん免許証を持っているはずがないので、不正利用が防げると思います。

あと、資料9にある利用促進策のそれぞれのターゲットがよく分かりません。

例えば、子どもや親子連れに親しんでもらうためにはどうしたら良いのか。あるいは、お年寄りにとってどういうことをしたらバスが重宝してもらえるのか。そういうターゲットをきちんと明確にして、それぞれどのようにしたら良いのか考えていただきたいです。

この後、時刻表やモデルコースについて、皆さんに意見を書いていただくということなので、その辺を意識して、「こういう人って本当は乗ってくれそうなのに乗ってくれないのは何でかな」とか、「どのようにしたら、バスを利用するきっかけが掴めるかな」と考えて書いていただくと良いかなと思います。

よく考えてみると、資料5の予算の専決ですが、この計画推進事業の国庫補助金について、公共交通会議に補助金が入って、その補助金をそのまま市に出して、市の方で事業を行うとなりましたね。これは、公共交通会議の仕組みをあまり上手く活用してないやり方です。

なぜなら、例えば、商業施設と連携して何か事業を行おうとすると、商業施設が主体になって公共交通会議名で事業を行うことが可能です。その場合、市が行うわけではないので、市に補助金を出すのはおかしいです。その商業施設に事業を行うために負担してもらおうとか、違う補助金の流れができるんです。

従って、この公共交通会議のメンバーだったら、誰がお金を使っても全体の補助金分の2分の1のお金が残るとというのが利点なので、商業施設だとか、病院だとか、あるいは民間団体が一緒に行うものであれば、そういうお金の流れがあることを認識してください。

結局、市に全部補助金が入るのであれば、市が全部利用促進策を行うことを意味するので、せっかく協議会補助にしている国の意図が分かっていないことになります。

逆に言ったら、先ほど林委員が仰ったように、連携して行う利用促進策に積極的に手を挙げていただくと、それに対しての支援が出るような仕組みで、国が2分の1補助する制度なので、あと1年間だけですけれど、積極的に手を挙げていただくと良いと思います。

● 河口課長

すみません。事務局の方からよろしいでしょうか。

今から採決に移っていただくとお思いますけれども、2点ほどご確認させていただきたいことがございます。

まず一点目ですが、委員及び加藤先生の方からご意見をいただいた資料9の「(4) 運転免許証自主返納支援事業」についてですが、このま

ま採決されると、事務局案で承認されることとなります。皆さんから意見がありましたので、この事務局案でよろしいのかという最終確認です。

事務局としてご提案させていただきましたのは、今まで、高齢者の気軽な交通手段として、ワンコインというスタンスでやってきた中で、加藤先生からご発言もありましたけれど、運転免許証を自主返納した方に特化して、幅広く大きく特典をつけるのはいかがなものだろうという視点から提案した次第です。

しかしながら、社会問題になっております高齢者の交通事故を防止するためにも、免許証自主返納支援事業は、何らかの形で本市としても支援をしていかなければならないとの考えの中で、今回、事務局として無料乗車券10回分の有効期限6か月と提案させていただきました。

こういった経緯を踏まえまして、委員及び加藤先生のご意見にありました、3か月無料にして定期券にするのも一つ、そして、有効期限6か月のまま無料乗車券10回分を回数券でなく、一日乗車券にするのも一つ、また、永久的に無料にするというのも一つですし、ご意見は分かれたけれども、本日の会議で決まってしまうので、どのように決定させていただくのかの確認が一点目です。

もう一点は確認事項ですが、例えば、資料9の「(5) レンタサイクルの返却ポイントの追加」につきまして、予算が関係します。

予め皆様にご了承いただきたいのですが、この会議でご了承いただいたからといって、予算の確保が確約されたものではございませんので、その点につきましては、ご了解いただきたいと思えます。

●前田会長

課長からの提案につきまして、暫時、休憩をいただいてからの採決とさせていただきますと思います。

事務局と確認をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

(時に午後4時28分 休憩)

(時に午後4時35分 再開)

●前田会長

ありがとうございます。それでは、先ほどの件に関しまして、事務局の方から説明をお願いします。

●河口課長

事務局の方から説明させていただきます。

今から採決に移りますが、今回この議題におきましては、資料9の(1)から(5)まで5つの議題がございます。

これまでのご意見を聞かせていただきまして、「(4) 運転免許証自主返納支援事業」につきましては、予算が関係しませんので、次回2月上旬の公共交通会議において採決していただくとしまして、継続審議をご提案します。

それ以外の「(1) きよすあしがるバス「時刻表・ルート図」の発行」、

「(2) 一日乗車券の発行」、「(3) きよすあしがるバスの「モデルコース」の設定」、「(5) レンタサイクルの返却ポイントの追加」については、先ほどご説明させていただいた内容でよろしいか、皆様にお諮りいただきたいと思ひます。

●前田会長

事務局からの説明でよろしいでしょうか。

[異議なし]

これで協議事項(3)を終わります。

続きまして、その他ということで、事務局から報告がございましたら、お願いします。

●岡田係長

別添で事務連絡ということで本日付けの文書を机上にて配付させていただきます。

「きよすあしがるバス「時刻表・ルート図」及びモデルコースに係る意見聴取について(依頼)」ということで、本日、「時刻表・ルート図(案)」及び「モデルコース(案)」を素案として出させていただきます。

本日はお持ち帰りいただきまして、ご意見等ございましたら、来年1月12日(火)までに事務局へご提出していただきたいと思ひます。よろしくお願いします。

●前田会長

続きまして、その他ということで、事務局から報告がございましたら、お願いします。

[「「名古屋交通圏タクシー準特定地域計画」策定への協力のお願ひについて」事務局から説明]

●加藤副会長

すみません。

私は間もなく帰らなければならないので、私が会長名で要請している議題で帰らなければならないので恐縮ですが、この後、名古屋交通圏タクシー準特定地域協議会事務局でもある多田委員に説明させていただきます。

要するに、清須市の中で、タクシーにどういふことを期待して、「今はこうだけど、もっとこうなって欲しい」とか、あるいは、「こういふことをやってくれるとすごくありがたい」といふことを言っていたきたいといふのが趣旨です。

名古屋交通圏といふのは、名古屋市を中心とした17市町村ですので、けっこう広い範囲ですけど、全体でタクシーをより良くしていく計画を、私が会長になっている協議会で策定する予定です。

実は、この会議の前田会長にも委員になっていただいているんですけ

ど、是非、日ごろ皆さんがタクシーについて思っていることを出していただけると良いなと思っています。

意見をいただく前に、私がいなくなって恐縮ですが、よろしく願います。それでは失礼します。

●多田委員

加藤先生ありがとうございました。

別添資料の平成27年12月22日付けの依頼文書をご覧ください。

これは、平成27年12月22日に、名古屋交通圏タクシー準特定地域協議会の自治体の方々にご参加いただいたワーキンググループにおいて、お願いした文書です。ただ、当日の議事の中で、若干修正が発生しておりますので、少し文言が変わってくる箇所がありますのでご了承ください。

今、加藤先生からお話がありましたけれど、利用者皆様方のご意見を、この計画の中に反映していくため、ワーキンググループという手順を踏んでお願いさせていただいた次第でございます。

資料に「1 自治体（貴協議会）及び地域が必要と考えるタクシーサービス」、「2 「準特定地域計画」への意見要望について」、「3 タクシー事業者、タクシー事業者団体、タクシー運転手で構成する労働組合に対する意見要望等について」、「4 自治体（貴協議会）が実施主体となる「準特定地域計画」取組（記載）事項について」とあります。

具体的には、まず一つ目として、この地域が必要と考えるタクシーサービスについてということで、ここの主語は自治体になっていますが、これは皆様方、公共交通会議に置き換えていただければ結構でございます。

更にはその下、二つ目の準特定地域計画への意見要望について、これについては、皆様方は内容的なことをご存知無いので、清須市さんからご意見をいただければと思います。

その下、三つ目ですが、タクシー事業者、タクシー事業者団体であったり、労働組合に対する意見要望です。これは1の部分をお願いをする部分とみていただければ結構でございます。内容的には同じでございます。

それから四つ目、自治体が主体となって取り組む準特定地域計画に関する事項ということで、先ほど資料9で少し見させていただきました。清須市の時刻表に、公共のタクシー乗り場、タクシー事業者の案内をしていただけるということで、私共からすれば大変ありがたいことでございます。このように、あしがるバスだけでなく、タクシーも含めて、いかにこの公共交通の利用促進を図っていくかという中で、皆様方の取組みをご提案いただければと思います。

5番目は、この会議の場において、今までの1、2、3、4の部分について、協議の場の時間をいただきたいというのが趣旨ですが、時計を見てみますと午後4時45分で相当時間も押している状況です。この状況で皆さんに協議を行ってくださいというのはなかなか言いづらいです。

先ほど、「時刻表及びモデルコースの意見聴取について」ということ

で、事務局からお願いがございましたが、それにこの意見聴取をプラスしていただくような形で、タクシーに関する意見・要望というのを是非、お寄せいただきたいと思います。

今、タクシーの業界は大変でございます。一番何が大変かという労働者不足です。

しかし、他地域に比べると、まだまだ名古屋交通圏では大きな問題にはなっていません。地方に行けば行くほどタクシーがいなくなっていくという時代でございます。路線バスが廃止され、今度はタクシーも廃止されてしまう。そうなったときに皆様方の足の確保というのは自家用車しかなくなってしまう。そうしたときに、高齢者であったり、移動制約者の方々の足を誰が確保するのか、これはいろんな法律の中で自治体の皆様方にその責任があるというような書きぶりとなっているわけです。

こういう場において、自治体の皆様方と一緒にタクシーについて検討する場を今日お願いをさせていただくということでございます。くどいようですが、時間の関係もありますので、清須市の地域公共交通会議事務局の方にタクシーのご意見をお寄せいただければと思います。

また、その他資料がありますが、これはタクシー準特定協議会の意味であったり、これから作ろうとするタクシー準特定地域計画の位置付けであったり、是非、検討していただきたいと思いますということをかいつまんで記載させていただいた資料です。

これも12月22日の自治体ワーキンググループの中でお配りさせていただいた資料を、少し表現を変えている部分もありますが、そういう形の中で、ご提供させていただくものです。

これから、あしがるバスの計画と網形成計画と私共タクシーの計画が、連携していくことで、タクシーやバスだけでなく、地域の足全体をいかに確保していくかが、最終的な大きな目的でございます。

お時間もございませんので、詳細な説明は割愛させていただきます。皆様方をお願いをさせていただきたいのは、「タクシーにどうあって欲しいか」、「タクシーをどう使ったら良いのか」、ということです。

現実に地方ではタクシーがなくなる中で、「タクシーがんばれ」という地域もありますし、「タクシーはもういらない」とか「こんな高い乗り物乗れません」とか、現実にそういう声もいただいております。

そういう中で、皆様方の忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

●岡田係長

ありがとうございます。皆様方にご意見をいただくということですが、私共の方で取りまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

●多田委員

結構です。

●岡田係長

それでは、皆様方をお願いしたいのは、今のお話でタクシーのあり方についてのご意見を、先ほど私共からご依頼させていただきました文書

の別紙1、2とありますが、裏面でも結構です。そちらへご記入いただいて、モデルコース等のご意見と共に、提出していただきたいと思います。

多田委員に確認です。締め切りは1月12日でよろしいでしょうか。

●多田委員

1月中に取りまとめを予定しておりますので、結構です。

●岡田係長

はい。では同日ということで、取りまとめさせていただきますので、よろしく願いいたします。

●前田会長

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

最後に、確認のために本日の議事について、事務局から報告をお願いします。

●岡田係長

本日は、報告事項の5件、協議事項の3件につきましてご協議をいただきまして、ありがとうございました。

特に、ルート・ダイヤ改正、利用促進の件につきましては、一部継続審議はありましたが、概ね承認いただきました。

いただいたご意見を踏まえて内容を整理してまいりますので、来年2月頃に予定しております第3回の当会議で、改めてご協議をお願いしたいと存じます。

以上でございます。

●前田会長

それでは、委員の皆さんから他に何かございましたらお願いします。

[特になし]

ありがとうございました。

それでは、これもちまして、平成27年度第2回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

本日は、本当にありがとうございました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

4 閉会（午後4時52分）

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線1224
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前 田 繁 一

署名委員 平 松 サナエ

署名委員 林 巖